

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-508694 (P2001-508694A)

【公表日】平成 13 年 7 月 3 日 (2001.7.3)

【出願番号】特願 平 11-520942

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/11 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 17/11

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 17 日 (2005.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年8月17日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第520942号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 タイコ・グループ・エス・エイ・アール・エル

3. 代 理 人

住 所 〒107 0052 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日 本 自 転 車 会 館

氏 名 (6078) 弁理士 小田島 平 吉

電 話 3585-2256



4. 補正命令の日付 なし

5. 補正の対象

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙のとおりに訂正する。

以上



別紙

請求の範囲

「 1. 2個の筒状部材の自由端に連結に使用する医用装置であって、
吻合すべき各筒状部材のそれぞれの自由端に固定し得る第1及び第2の
リング部材、及び

端末側端部と手前側端部とを有する挿入装置であって、前記リング
部材の一方が、該筒状部分の自由端の一方を通して伸びるように前記リ
ング部材の該一方を挿入するようになっている挿入装置、及び

前記挿入装置の前記端末側端部に取り付け得るキャリアー組立体で
あって、前記第1及び第2のリング部材の取り付け及び開放用の第1及
び第2のキャリアーを有し、前記第1のキャリアーは挿入装置の前記端
末側端部に取り付け可能であり、前記第2のキャリアーは前記第1のキ
ャリヤーの取り付け可能であるキャリアー組立体を具備し、

該第2のキャリアーの前記末端側端部が、複数の軸方向に延びてい
る脚を有し、前記脚の末端側端部が、その末端側端部に半径方向の力を
加えることによって、相互に半径方向内側に強制されており、該半径方
向の力が、該リング部材の一方以外の部材によって加えられており、前
記第1及び第2のリング部材は互いに第1及び第2の予定された距離に
位置決め可能である

ことを特徴とする医用装置。

2. 前記第2のリング部材を前記第2のキャリアーに固定し、続い
て前記第1及び第2のリング部材が互いに前記第2の予定された距離に
置かれた後で前記第1及び第2のリング部材を前記キャリアー組立体か
ら解放するための固定及び解放機構を更に備える請求項1に記載の医用

装置。

3. 吻合すべき2個の筒棒部材の自由端の連結に使用する吻合装置であって、

吻合すべき各筒状部材のそれぞれの自由端に固定し得る第1及び第2のリング部材、

端末側端部と手前側端部とを有する挿入装置であって、末端側端部が係合可能な部材を有し、前記リング部材の一方が筒状部材の自由端の一方を通して伸びるように、前記リング部材の該一方を挿入できるようになっている挿入装置、及び

前記挿入装置の前記端末側端部に取り付け得るキャリアー組立体を具備し、

該キャリアー組立体が、前記第1及び第2のリング部材の取り付け及び開放用の第1及び第2のキャリアーを有し、

前記第1のキャリアーは挿入装置の前記端末側端部に取り付け可能であり、前記第2のキャリアーは前記第1のキャリアーの取り付け可能であり、

該第2のキャリアーの末端側端部が、複数の軸線方向に延びている脚を有し、

該脚が、相互に半径方向内側に強制されており、該第2のキャリアーの末端側端部において開口を形成しており、該第1及び第2のリング部材が、該キャリアー組立体の軸線に沿って相互に第1及び第2の所定の間隔で位置付けられ、該キャリアー組立体から解放可能であり、

該キャリアー組立体が、更に、端末側端部と手前側端部とを有するコレットを有し、

該コレットの該手前側端部が、該第２のキャリアーの該末端側端部を介して手前側に次いで該第１のキャリアー内に延びて該挿入装置の係合可能な部材に係合する脚を有し、

該コレットの該末端側端部が、クサビを有し、

該クサビが該第２のリング部材を該第２のキャリアーに開放可能に係合し且つロックするように、該第２のキャリアーの該脚の該末端側端部が、半径方向外側に広がるように、該コレットが、該第２のキャリアーの末端の開口端部を介して挿入可能であり、

該脚の該末端側端部が、半径方向内側に移動して、該第２のリング部材を開放し、該第２のキャリアーからその開放を可能にするように、該クサビが、該脚の該末端側端部から係合を外すことができることを特徴とする吻合装置。

４．前記第２のリング部材を前記第２のキャリアーに固定し、続いて前記第１及び第２のリング部材が互いに前記第２の予定された距離に置かれた後で前記第１及び第２のリング部材を前記キャリアー組立体から解放するための固定及び解放機構を更に備える請求項３に記載の吻合装置。」

以上